

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 株式会社ヒガシマル

上場取引所 福

コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 上野 善博

TEL 099-273-3859

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,715	△10.8	△62	—	△0	—	5	△87.8
21年3月期第1四半期	1,924	—	87	—	113	—	45	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1.19	—
21年3月期第1四半期	9.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	9,048	4,214	46.6	895.62
21年3月期	8,409	4,312	51.3	916.63

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 4,214百万円 21年3月期 4,312百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	5,005	0.1	287	1.7	289	△2.9	146	40.5	31.24
通期	9,295	4.7	376	472.5	426	498.4	236	—	50.23

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第1四半期 | 4,746,000株 | 21年3月期 | 4,746,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第1四半期 | 40,809株 | 21年3月期 | 40,809株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第1四半期 | 4,705,191株 | 21年3月期第1四半期 | 4,705,964株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月15日発表の数値に変更はありません。また、本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、自動車や電機を中心に大幅減産に踏み切ったことから過剰在庫が解消され、生産活動は回復へと転じました。雇用情勢は依然として厳しい状況が続いておりますが、定額給付金やエコカー減税等の経済対策の効果が表れ、消費は幾分上向いております。

このような状況のなか、当社グループは品質の維持向上、生産コストの削減を継続し、安心安全な製品供給に取り組んでまいりましたが、鮮魚市況の長期低迷による養殖業の経営悪化に歯止めが掛からないことから配合飼料の販売価格を引き下げたこと、養殖業者の廃業及び飼育尾数の減少や生餌価格の下落によって配合飼料の使用割合が減少したことなどにより、売上高は17億15百万円と前年同四半期と比べ2億8百万円(10.8%)の減収となりました。利益面につきましては、配合飼料の販売数量の減少及び価格引き下げにより、当第1四半期は62百万円の営業損失となり、営業外収益に57百万円の為替差益を計上したこと、当四半期の業績を勘案して賞与支給見込額を引き下げたことにより特別利益に賞与引当金戻入額17百万円を計上したことなどにより四半期純利益は5百万円と前年同四半期と比べ40百万円(87.8%)の減益となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、生育が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。従って、当第1四半期連結会計期間の売上高は、第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間と比べ低くなる傾向にあります。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 水産事業

水産事業におきましては、主にクルマエビ飼料類、ハマチ飼料類、マダイ飼料類などの需要減に伴い販売数量が減少したこと、養殖業界の強い値下げ要望にお応えするために販売価格を引き下げたことなどにより、売上高は12億88百万円と前年同四半期と比べ2億77百万円(17.7%)の減収となりました。営業利益は、原材料価格等が前年同四半期と同等で原価率が上昇したことなどにより53百万円の営業損失となり、前年同四半期と比べ1億86百万円の減益となりました。

② 食品事業

食品事業におきましては、即席麺類はプライベートブランド商品の受注増加、皿うどん類は価格を下げた新商品を発売、そうめん類は初夏の気温が高かったことなどにより、それぞれ販売数量が伸び、売上高は4億27百万円と前年同四半期と比べ68百万円(19.2%)の増収となりました。生産量の増加に伴って原価率が低下したことなどにより営業利益は40百万円と前年同四半期と比べ37百万円の増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ6億39百万円増加し、90億48百万円となりました。主に受取手形及び売掛金の増加3億14百万円、たな卸資産の増加1億82百万円、飼料製造設備の老朽化に伴う維持更新及び品質向上を目的とした設備投資による機械及び装置の増加1億24百万円などによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ7億38百万円増加し、48億34百万円となりました。主に買掛金の増加3億84百万円、短期借入金の増加3億67百万円などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ98百万円減少し、42億14百万円となりました。主に繰延ヘッジ損益の減少70百万円と配当金支払いによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、当社グループの売上高は、第1四半期連結会計期間より第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間の割合が高くなる季節的変動があり、将来の業績を予測することは困難であることから当初の業績予想を修正しておりません。

当社グループを取り巻く経済環境の変化が想定範囲を超えることとなった場合には業績予想を見直す可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の見積額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,205,195	1,212,131
受取手形及び売掛金	1,447,654	1,132,733
商品及び製品	414,934	318,767
仕掛品	41,157	49,580
原材料及び貯蔵品	891,974	797,687
その他	169,632	127,545
貸倒引当金	△607	△658
流動資産合計	4,169,941	3,637,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,150,030	1,142,583
機械装置及び運搬具(純額)	1,002,263	877,840
土地	1,746,746	1,746,746
その他(純額)	39,282	116,978
有形固定資産合計	3,938,323	3,884,148
無形固定資産	106,962	101,758
投資その他の資産		
その他	857,099	809,148
貸倒引当金	△23,536	△23,536
投資その他の資産合計	833,563	785,612
固定資産合計	4,878,848	4,771,519
資産合計	9,048,790	8,409,306
負債の部		
流動負債		
買掛金	757,637	373,200
短期借入金	2,819,885	2,452,741
未払法人税等	3,600	133,000
賞与引当金	38,896	77,793
その他	296,516	241,373
流動負債合計	3,916,536	3,278,109
固定負債		
長期借入金	103,120	116,460
役員退職慰労引当金	459,980	458,495
その他	355,102	243,337
固定負債合計	918,202	818,292
負債合計	4,834,738	4,096,401

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,373,978	3,410,715
自己株式	△28,917	△28,917
株主資本合計	4,407,360	4,444,097
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,110	10,766
繰延ヘッジ損益	△145,267	△74,513
為替換算調整勘定	△62,151	△67,445
評価・換算差額等合計	△193,308	△131,192
純資産合計	4,214,052	4,312,904
負債純資産合計	9,048,790	8,409,306

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,924,296	1,715,692
売上原価	1,559,456	1,496,873
売上総利益	364,840	218,818
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	72,301	69,738
給料及び賞与	61,919	64,742
賞与引当金繰入額	13,345	14,852
役員退職慰労引当金繰入額	—	1,485
その他	129,539	130,545
販売費及び一般管理費合計	277,105	281,364
営業利益又は営業損失(△)	87,734	△62,546
営業外収益		
受取利息	648	707
受取配当金	1,276	1,248
為替差益	15,442	57,857
物品売却益	12,075	8,418
雑収入	4,766	1,861
営業外収益合計	34,209	70,092
営業外費用		
支払利息	8,495	6,422
雑損失	—	1,481
営業外費用合計	8,495	7,904
経常利益又は経常損失(△)	113,448	△358
特別利益		
賞与引当金戻入額	—	17,453
固定資産売却益	19	—
特別利益合計	19	17,453
特別損失		
固定資産売却損	—	232
固定資産除却損	841	100
特別損失合計	841	332
税金等調整前四半期純利益	112,626	16,762
法人税、住民税及び事業税	42,890	1,515
法人税等調整額	23,928	9,637
法人税等合計	66,819	11,152
四半期純利益	45,807	5,609

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	112,626	16,762
減価償却費	69,107	74,355
賞与引当金の増減額(△は減少)	33,909	△38,896
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,084	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	1,485
固定資産除売却損益(△は益)	822	332
受取利息及び受取配当金	△1,924	△1,955
支払利息	8,495	6,422
為替差損益(△は益)	△2,508	745
売上債権の増減額(△は増加)	△359,230	△314,249
たな卸資産の増減額(△は増加)	△67,249	△173,857
仕入債務の増減額(△は減少)	255,515	383,486
その他	△61,916	△10,628
小計	△8,268	△55,995
利息及び配当金の受取額	1,841	2,460
利息の支払額	△8,240	△3,665
法人税等の支払額	△50,383	△129,001
その他の収入	7,500	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△57,549	△186,201
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△272,000	△184,000
定期預金の払戻による収入	218,000	344,000
有形固定資産の取得による支出	△91,733	△99,446
その他	△6,681	△8,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152,414	52,442
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	373,515	368,620
長期借入金の返済による支出	△76,852	△45,211
配当金の支払額	△37,648	△42,346
自己株式の増減額(△は増加)	△517	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	258,498	281,062
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,816	5,760
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	46,716	153,064
現金及び現金同等物の期首残高	553,694	458,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	600,411	611,172

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	水産事業 (千円)	食品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	1,565,567	358,729	1,924,296	—	1,924,296
営業利益	132,881	2,617	135,498	(47,764)	87,734

(注) 1 事業区分は、製造方法、市場及び販売方法の類似性を勘案して区分しております。

2 各事業の主な製品は次のとおりであります。

(1) 水産事業……エビ飼料類、ハマチ飼料類、その他飼料類

(2) 食品事業……即席麺類、乾麺・つゆ類、その他麺類

3 消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、提出会社本社の管理部門に係る費用47,764千円であります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	水産事業 (千円)	食品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	1,288,107	427,584	1,715,692	—	1,715,692
営業利益又は営業損失(△)	△53,623	40,165	△13,457	(49,088)	△62,546

(注) 1 事業区分は、製造方法、市場及び販売方法の類似性を勘案して区分しております。

2 各事業の主な製品は次のとおりであります。

(1) 水産事業……エビ飼料類、ハマチ飼料類、その他飼料類

(2) 食品事業……即席麺類、乾麺・つゆ類、その他麺類

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。